▼2月9日 図書館本館



市民活動の普及をめざして

野洲図書館本館ホールで、市民活動事例報告会が開催されました。

現在、市内では約300の市民活動団体がさまざまな分野で活動されており、さらなる普及と活性化を図るため、 事例紹介や交流・意見交換を行いました。

当日は6団体による事例紹介が行われ、各団体の工夫した取り組みを発表。意見交換会では、運営の苦労やコ

ツなどについて活発に意見が交わされました。

まちの発展には、市民の自主的な取り組みが 欠かせません。市民活動のさらなる発展を期待 しています。

ICT でクイズ交流!

篠原小学校と三上小学校の5年生がICT (情報通信技術)を使った遠隔授業で交流しました。

この授業は少子化・人口減少社会に対応するため、文部科学省が進める事業を利用して実施。タブレット端末を操作し、琵琶湖の環境や滋賀県について作った問題をお互いに出し合い、クイズで対戦しました。

授業を終え、子どもたちからは「いろいろな問題を出し合えて楽しかった。」、「また、授業でタブレットを使っていきたい。」との声が聞かれました。

今後も情報社会に対応するため、ICT教育の充実を 図っていきます。

▼2月1日 篠原小学校



京セラさん、ありがとう!

京セラ㈱滋賀野洲工場から「折りたたみテント」が市内の保育園・幼稚園・こども園(全9園)に寄贈されました。

今回のテントは、「歳末助け合い運動」の一環として、滋賀野洲工場の皆さんによる寄付金でご購入いただいたもの。

これを受け、市内9園を代表し北野幼稚園で 贈呈式が行われ、子どもたちがお礼の 言葉と歌を届けました。

> 寄贈された備品は、子どもたちが健 康に過ごせるよう、屋外活動等で有効 に活用させていただきます。

▼1月31日 北野幼稚園





歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

子どもの成長と儀礼

人の一生は、冠婚葬祭をはじめ多彩な儀礼や習俗を経ていきます。誕生後、初めて氏神へ参拝する「宮参り」もそのひとつです。野洲一帯では30日前後に行われ、特に男児が31日目、女児が33日目とする区域が多いです。現在、両親や祖父母らで宮参りへ行く傾向にありますが、かつて野洲では子どもにとっての父方の伯母(叔母)などがお供えを携えて子どもと参詣する地域が多かったようです。中には、子どもの額に紅で「〇」を印したり、男児に「大」、女児に「小」と印す風習も見られます。本来、宮参りは氏子の一員となるための儀礼ですが、特に野洲では、宮参りの後に旦那寺(菩提寺)にも立ち寄る所が多く、子どもの存在を社会的に知らせる意味もあったと考えられます。

また、生後100日目には乳児のために新しい箸や椀、膳を揃え「食い初め」を行います。一般的に、赤飯や尾頭付きの魚といったお膳と、小石が用意されます。これらを食す真似をして子どもの歯が丈夫になるよう願いました。野洲では、野洲川の河原から丸い石や青い石を用意する地域もあります。

そのほか、現在では見聞しなくなりましたが、かつて野洲では子どもが丈夫に育つまじないとして「ヒロイゴ」などと称して、子どもを辻に置き去りにし、健康な子どもたちのいる他家に拾われた後、ほどなくして家に連れ帰るという風習もありました。勿論、このやりとりは家同士で事前に打ち合わせをしますが、健康な子どもの成長にあやかりたいという親心がみてとれます。

かつて、子どもは精神的にも肉体的にも非常に不安定な存在で、先のような儀礼や習俗を経ることで神仏の加護を得て、子どもの成育を確かなものとしました。また、子どもは成長するにつれムラの伝統行事や祭りに参加し、その役割を担うことでムラの一員、ひいては社会の一員として段階的に認知され、自身も自覚を促されました。近年、子



どもを取り巻く社会環境の急激な変化によってその意味が薄らいでおり、野洲一帯においてといてれらの儀礼や習俗が時代といきました。しかし「這えば立て、立てば歩めの親心」とある願いに、子どもの健康や成長を願うに、子どもの時代も変わらないといえるでしょう。

(市史専門調査員 江藤弥生)

▲昭和14年・男児の宮参り(吉川周男氏提供)

■郷土史展「野洲の子ども―あの日のあなた―」

開催中~3月10日(日) 休館日:月曜日

※市民は入館無料

(運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。)



ちっちゃなおはなしの森 in 中主

野洲図書館主催の行事「ちっちゃなおはなしの森」が中主分館で開催されました。

この行事は、乳幼児とその保護者を対象に絵本 の読み聞かせなどを行う本館で人気の行事。兵主・ 中里地域の皆さんにも親子で絵本に親しんでいた だこうと、初めて中主分館で開催されました。

当日は、読み聞かせに加え、わらべうたを一緒 に歌ったりと、楽しいひとときを過ごしました。

次回は3月13日(水午前11時から開催。 皆さんのご参加をお待ちしています。

▼2月13日 図書館中主分館



100 歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた中村スエさん(安治)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正8年1月8日生まれのスエさんの趣味は、 ゲートボールと菊づくり。

ゲートボールは、90歳まで取り組まれ、まだま だ元気いっぱいです。

この日は、家族で祝福されていました。 いつまでもお元気で。

▼1月16日 安治

